

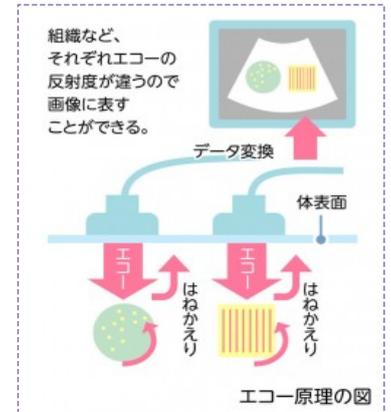
## ～超音波(エコー)検査～

臨床検査技師 照井 実咲

超音波とは、人の耳では聴くことのできない高い周波数の音です。  
超音波は臓器や組織の境界で反射する性質があり、  
この性質を利用して反射してくる音(反射波)を画像に表します。

超音波検査は放射線の被曝がないため体に無害であり、  
リアルタイムで臓器の様子を観察することができます。

超音波を通りやすくするために検査する部位にゼリーを塗り、  
プローブという超音波を出す探触子を体に当てて検査します。



超音波は気体の中は伝わりにくいので、肺がかぶってしまったたり  
消化管のガスが多いと臓器が見えにくくなってしまうことがあります。

そのような時は呼吸の調節や体位変換をお願いしたり、  
プローブでお腹を押してガスを動かしたりすることで臓器を見えやすくしています。

また、骨は超音波を反射してしまうので骨と骨の間からプローブを当てて臓器を見えています。

プローブで押されたり呼吸の調節をお願いすることで少し苦しい時もあるかもしれませんが、  
検査の際はご協力お願いします。



◎信楽園病院生理検査室で行っている主な超音波検査

心エコー

腹部エコー

血管エコー (頸動脈, 下肢動脈・静脈, 腎動脈, 橈骨動脈)

甲状腺・副甲状腺エコー

乳腺エコー